

「ポリテクカレッジ京都」のOBが在校生に「心がまえ」などを語る

平成22年5月18日、山本克吉様（昭和58年3月生産機械科卒業生）と野木弘雅様（平成18年3月生産技術科卒業生）から、生産技術科の1、2年在校生に、在校期間の思い出や学習活動・就職活動へのところがまえなどを語っていただきました。

今後、在校生は産業界に実践技術者として巣立つこととなりますが、企業の皆様をはじめ関係者の方々の一層のご支援ご協力をお願いします。お話をいただいた両名の一層のご活躍を期待申し上げます。

■ 山本マシン 代表 山本克吉 様

～人のつながりを大切に、誠実な仕事を！～

父は春から秋は米作り、冬は杜氏として働くため半年間家を空けるような環境で育ち、自分はどのような仕事をしたいのかを考えていた時に、本校が創立されることを高校の担任から聞き第1期生として入校した。

入校してからは寮に入り学習を開始したところ、授業がびっしり組まれ、先生からは「2年間で、4年制大学のカリキュラムと同様に組まれている」と聞かされたことを覚えている。

卒業し企業に入社後、新たな加工分野の取組部署に配属され、新製品が軌道に乗るには3年間程度費やした。この経験の中で新事業を提案したが受け入れられなかったため、独立を考えた。その後、会社を円満退社し、いろいろな人とのつながりを得て、取引先もでき、バブル当時は仕事があふれていたこともあったが、若かったこともありバブルということ自体がわからずに誠実に仕事をしてきた。しかし、'92～'94のバブル不況や'99のアジア危機のころ、そして今回のリーマンショックでは仕事が急激に減少したが、バブルのときの仕事の誠実さが認められたのか何とかしのぎ、現在は受注も増えてきている。

ポリテクカレッジ京都は、設計製図から加工まで先端機械を使って一連のことが覚えられるよい環境です。ものづくりは、短時間でできるものではない。授業は真面目に、素直に聞くことです。そして、運は自分でつかむものです。

昨今は、社内では隣同士の人にメールで会話するようなことも聞くが、世の中は人とのつながりです。また、目標に向かって真剣にやるのが大切です。わからないことや出来ない事は一生懸命取り組んで下さい。人とのつながりを大切に、訓練に就職活動に励んでいただきたい。



■ 株式会社日進製作所 設備製造課 野木弘雅 様

～社会人としての心得～

私は、平成 18 年 3 月生産技術科を卒業し、株式会社日進製作所 (<http://www.nissin-mfg.co>) の設備製造課に勤務して 4 年目になります。

日進製作所は 1946 年に創業し、現在、京丹後本社・工場、赤坂、荒山、市島、中国・タイに工場があります。主な製品は、①精密部品

(工業用マシン部品他) ②自動車部品、

オートバイ部品 ③小型エンジン部品 ④精密

鍛造品 (鋼及びアルミ合金) ⑤工作機械

(縦型高速自動ホーニング盤・その他専用機)

です。私は、オペレータや工程を減少させ

コストダウンを図る工作機械製品製造のための、各種部品の加工を行っています。当社は、

①あいさつ ②時間を守る ③ハウレンソウ (報告・連絡・相談) ④丁寧なコミュニケーション ⑤6S (5S+精度) を大切にしています。

仕事上の楽しみは、精度の良い製品や複雑な製品の加工への挑戦です。悩みは、精度の安定・生産性向上・新規ワークの製作などですが、自分に目標をもって仕事に取り組むことが良いと感じています。また、仕事の基本としての意識付けは、4K (顧客意識、強調意識、改善意識、コスト意識)、1M (目標意識)、1A (安全意識)、仕事の進め方は5W2Hです。

ものづくりは、①チームワークが大切であり ②ものづくりは人づくり です。

ポリテクカレッジ京都に在学中は、授業が終わった放課後や夏休みに毎日に残って「旋盤 2 級技能検定」資格取得に挑戦したことが思い出に残っています。就職が厳しい状況ですが、会社はどのような人材を求めているか、自分をどのように PR できるかを考えて、訓練に就職活動に頑張ってください。

